

同窓会報

～60周年記念号～

Vol.
60・61

会長ご挨拶

校長ご挨拶・・・・・・・・・・ 2

OB 紹介・・・・・・・・・・ 3

祝 同窓会 60 周年を迎えて・・・・・・ 4

50 周年以降の出来事・・・・・・ 5

同窓会の活動・・・・・・・・・・ 6～7

同期会、OB 会・・・・・・・・・・ 8～9

寄付者御芳名・・・・・・・・・・ 10

同窓会表彰 ほか・・・・・・ 11

総会開催案内 ほか

次のステップは

同窓会 会長 石川 直弘 (9 期)



本年度、南高附属中に 1 期生として入学した生徒と高校から一クラス入試にチャレンジした生徒が高三になり、南高が新たなスタートを切ることになりました。中高一貫校設立までのいきさつがどうであれ、南高が存続すると決まったからには全力で学校を応援するのが南高で育った我々の使命であり、南高生としての心意気でもあります。この 6 年間もそうであったし、これからも同窓会は南高・南高附属中の応援団として学校を支え、見守っていく所存です。

近年、同窓会への加入率が 95% を越え活動内容も定着してきました。何より嬉しいのは 53 期生から始めた「成人を祝う二十歳の同期会」が年々盛大になり、先生方も多く参加いただけるようになったことです。同期のつながりを深め、

その後の同期会開催のいいきっかけにもなっていると思っています。また、附属中とコラボして年 2 回行っている通学路の「清掃隊」は学校と地域とを結ぶ教育活動の一環として取り入れられています。

このような行事を理事が担当して行っているのですが、昨年度新規事業として立ち上げたホームページの「同窓生の会社・お店紹介」コーナーの停滞など、まだまだ課題が残る中で、理事組織の確立が最も急務だと考えています。恒久的運営の確立を狙った通称学生理事はまだ 2 年目ではありますが、きちんとした活動ができていないのが現状です。人材が不足しておりますので、同窓会にお力を貸していただける方を募集しております。安定した組織運営こそが次のステップへの礎になると考えております。

校長ご挨拶



ご挨拶

南高等学校 校長 三浦 昌彦

同窓会の皆様には、ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。また、同窓会が60周年を迎えられましたことを心よりお祝い申し上げます。

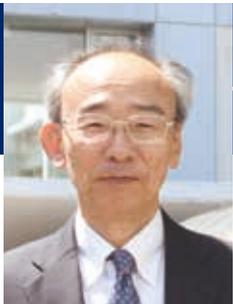
同窓会におかれましては、本校の充実・発展のために御支援・御協力、また、多大なる援助を賜り、紙面ではございますが、全会員の皆様方に、厚く御礼申し上げます。

今年度「南高」は、全校生徒585名でスタートを切ることになりますが、1クラス募集初年度入学生と附属中学校1期生が高校3年生になり、「南高」にとって「新たな1ページ」を刻む年になります。

また、世界に目を移すと「AI」や「IoT」の進展により、大きな転換期を迎えています。

アメリカの研究者が、「将来は職業の在り方も、様変わりしている可能性が高い」「現在の小学生の65%は、大学卒業後、今は存在しない職業に就くだろう」と言っています。そのような時代を生きていく生徒に必要な力は、「汎用性のある資質・能力」であると言われています。この「資質・能力」を育むために国が推し進める、高大接続改革（高等学校教育を含む初等中等教育改革、大学教育改革、大学入学者選抜改革）に向けても準備を始める年になります。

次の時代を生き、新たな歴史を創っていくだろう「南高生」のため、会員の皆様方のお力をお借りしながら、全力で精進してまいりますので、どうぞ宜しくお願い申し上げます。



同窓会のますますの発展を祈念して

南高等学校附属中学校 校長 磯部 修一（21期）

平成28年4月に南高附属中学校の校長に着任いたしました。母校である南高に併設された中学校に勤務する機会を得られたことに感謝しています。

今回の会報は、60周年記念の意味合いもあると伺っていますので、だいぶ怪しい記憶ですが南高が20歳（はたち）の頃を思い出してみようと思います。まず、正門から上がったところ、現在の駐車場のあたりは池でした。その近くに昇降口があり、当時は一足制ではなく上履きがあったのですが、それがトイレのサンダルのようなものでこれは今でもはっきり覚えています。部活動が大会に出場する前には、生徒が体育館に集まり、ステージ上で応援団がエールを送る壮行会がありました。その時だったと思いますが応援歌を歌っ

たのでしょう。去年の南高祭でPTA合唱団の方が職員室前のホールで校歌とともに応援歌も歌われていたのを耳にして懐かしく思いました。

変わっていないことで驚いたことは、南高祭の後夜祭で浴衣を着て踊ることです。何十年経っても変わらないことに懐かしさと何かうれしさのようなものを感じました。高校2年生全員参加の劇は、当時は本当に全員参加の劇をステージでやった記憶があります。変わることで良くなることもあれば、変わらずに長く続くことに良さを感じることもあります。

今後も同窓会がますます発展することをお祈りするとともに、南高・南高附属中学校へのご支援をよろしくお願いいたします。

5期 小森良治さん / 県教育長、公安委員長などを歴任



南高の1年間は市電を乗り継ぎ、中華街正門近くの港高校内の校舎に通いました。大学を卒業して神奈川県に奉職した私は、知事部局の環境部長に続いて県教育長を4年間、そして61歳から9年間神奈川県公安委員（うち委員長を2回）を務め警察行政にも従事することができました。マスコミから「長い公職生活の中で特に印象に残っていることは？」と尋ねられたとき、教育長時代に取り組んだ『県立高校改革』を第一に挙げました。

この改革は、少子化の影響で小規模校が増えてきたことによる弊害を解消するため大胆に統廃合を進める、並行してすべての県立高校に特色と魅力を持たせ、子供たちの進路の選択肢を多元的にするというものでした。この改革で相模原と平塚に県立の中等教育学校が2校誕生したのです。

この頃、横浜市教委も改革の一環として南高を中等教育学校にするという提案をしてきました。この案は関係者の間で大きな議論を呼び、結局南高に附属中学校を新設するという形で決着をみたところです。

今や公立の中高一貫教育は非常に人気が高く、南

高附属中の入試倍率が高いことはご存じの通りですが、この一貫教育を受けた第一回生たちがいよいよ来年3月に南高62期生として卒業を迎えると承知しております。その先の進路状況を注目するとともに、この中高一貫教育を行う南高が今後ますます名声を博するよう、OBの一人として期待しているところです。

経歴からして、強面で近づきがたい方ではないかと想像していましたが、5期の集まりでお会いしたときに、お酒好き、お話好きの穏やかな方なので安心しました。やはり南高生だ!と感じた第一印象でした。特に私も教育に携わっていた関係で、教育のことで話が盛り上がり、親しくお話しさせていただきました。

なお、小森さんの業績に対し、平成28年春の叙勲において「瑞宝小綬章」が授与されました。同窓会を代表して心からお祝い申し上げます。

(取材 9期 石川直弘)

10期 横山進一さん / 写真家、ストラディヴァリウス研究者そしてヴァイオリン制作者



1985年頃、パートナーのカメラと

南高10期生、横山進一です。1966年卒業、3年10組でした。

在学当時は勉学に励むのではなく、とにかく体を鍛えることに一生懸命でした。1964年東京オリンピックの聖火ランナーとして横浜の町を走ったことが一番の思い出です。

南高卒業後は、小学生の頃から趣味としていた写真の道をなぜか歩むようになり、多分野にわたり(人物・スポーツ・報道・楽器・風景・ファッション・花等)撮影し、10数冊の写真集を幸運にも残すことが出来ました。殆どが弦楽器の限定写真集なので、書店には並んでいませんが、世界中の研究者や楽器製作者に所有されています。また、アナログレコードのジャケット約300枚、CDは70枚を撮影してきました。カメラマンとして珍しい道を歩んできたと思っています。

でも、私の人生を豹変させたのは、1973年頃、「ストラディヴァリウス」というヴァイオリンを撮影したことが始まりで、アメリカのスミソニアン博物館の「ストラディヴァリウス」の研究者の一員として、世界に現存する名

器を撮影してきました。撮影し続けるうちにアントニオ・ストラディヴァリ自身の生き方に魅せられ、さらに楽器そのものに興味を抱き、出会った名器を礎に私なりに楽器製作者としての道へと進みました。現在自作の楽器は30数本になりました。その中で数本は実際に外国の演奏家が使用してくださっているのが嬉しいです。

私の夢はヴァイオリン、ヴィオラ、チェロ、コントラバスだけでなくチェンバロ(ハープシコード)など全て自作の楽器でヴィヴァルディ等の室内楽のコンサートを開けたらと思っています。

東横線学芸大学にある横山さんの工房に10期の磯野明子(旧姓 鬼頭)さんと一緒に伺いました。入り口前には大きな写真があり、室内には横山さん製作のヴァイオリン群が置かれていました。名器をモデルにした様々なヴァイオリンをヴァイオリニストの梅沢幸子さんが弾き比べてくださり、至福のひとつを過ごすことができました。横山さんは物静かな方ですが、うちに秘めた情熱をひしひしと感じました。

(取材 9期 石川直弘)



自作の楽器たち



「Antonio Stradivari」写真集



「東洋蘭之美」題字は在学当時の書道の恩師、秋山徹太郎(撫城)先生が書いて下さいました。



ストラディヴァリウスについて書いた新書です。

祝 同窓会 60周年を迎えて



名もない高校に入学して 同窓会 名誉会長 松村 祥男(1期)

伝統あるY校(横浜商業高等学校)を目指しパスしたはずが、入学した時に学校は既になく、ただ茫然とする。これが南高1期生のスタートだった。

Y校の普通科が独立して南高となったことを聞かされ釈然としなかったのは自分だけではない。事情を理解できないまま吉田中学片隅の教室で新設南高の授業が始まった。先生方のほとんどがY校から移籍して来られた。そんな背景もあってか、生徒のモチベーションを高めることに意を払い、一人ひとりの自主性を重んじ・育てることに配慮してくれた。素晴らしい先生方に会えたことは幸せである。

初代校長の黒沢信吾先生指導の下、教師・生徒の一体感で新しい学校を築くという心意気みたいなものを自覚し始めたが、世間は冷たかった。南高!? 知らないな! どこにあるの? 公立? ・関心はなく、「入学おめでとう」の声さえかけて貰えなかった。

しかも中学の間借り校舎で肩身の狭い思いをし、山下町の港高校に移っても間借りの始末。学校の周辺

に中華街はあったが、現在の市庁舎は鉄条網で囲まれた荒地、隣の横浜公園は進駐軍のかまぼこ兵舎の残骸、四周には戦後の姿が残っていた。卒業式も間借りの港高校体育館、割れた窓ガラスに囲まれ、式は3月の冷たい風が吹く中で挙行された。卒業と同時に「南高校同窓会」が発足、学校からの要請もあって役員の一員として任命を受け、以来50年間離れることがなかった。半世紀という長い月日にいろいろな出来事があったが南高は立派な校風を築き、先生方の努力と卒業生の固い絆によって誇りある母校となった。

その後、南高は中高一貫校として新しい教育が始まることになった。同時に学校の名称を変更する案が示され、「南高」をなくす提案が行政からあった。多くの卒業生は、再び名もない高校が出現することに憂いを感じ反対した。騒動の末「南高」は残り、附属中学を擁する新しい教育の場として引き継がれ、伝統ある学校としてその座をゆるぎないものとした。同窓会設立60周年のいま、あらためて卒業生として誇りを感じ、今後も母校から世界に羽ばたく輝きを持った後輩が多く輩出されることを願っている。



創立六十周年を迎えて 南高等学校 第十二代校長 大橋 一博(5期)

南高校は、昭和二十九年南区民の要望により、高校三原則(小学区制・総合制・男女共学)を柱として創立されました。開校当初は、港高校等を仮校舎として学習していましたが、昭和三十四年、現在地へと移転致しました。

この地は南区のほぼ中心で、鎌倉街道(下の道)と武蔵・相模の国の国境との交点に当たります。

私たちは、自主自立の精神の基、良き恩師、良き友に囲まれ楽しい青春時代を過ごしました。そこには、「人情に厚く、他を思いやる」という諸先輩方の気風が流れていました。

私は、何時か母校の教壇に立ちたいとの思いで教員の道を選びました。そして、平成十二年四月、念願の母校に着任致しました。着任時、より多くの生徒(後輩)と語り合い、生き生きと活動する姿を見守ってこうと決意し、時間の許す限り実践したつもりです。やがて、充実した三年間の在任期間が瞬く間に過ぎ、

現職最後の卒業証書授与式を迎えました。式が無事終了した直後、生徒会より「これから校長の卒業式を行います」と告げられ、「あなたを南高の永遠の校長と称します」という手作りの卒業証書と卒業生の寄書き帳を頂きました。思いがけない出来事に、胸が熱くなったのを覚えています。私は南高在籍中、諸先輩方から伝わる「思いやりの精神」が、数十年を経ても受け継がれていることを幾度も体験致しました。

在校生の皆さん、学生生活の中で、体を鍛えるのも、勉学に励むのも、感性を磨くのも良いでしょう。どうか、この南ヶ丘から南高生らしい爽やかな風を送り続けて欲しいと願っています。

心豊かな生徒を育ててくださった歴代の先生方、保護者の皆様、いつも温かい眼差しで南高生を見守ってくださる地域の皆様、そして、長きにわたり同窓会を支えてくださった皆様に感謝の意を表しますと共に、創立六十周年を心よりお祝い申し上げます。

50周年以降の出来事

50周年

平成 18年 (2006年) 10月 14日

- ・同窓会 50周年記念パーティ開催



平成 19年 (2007年) 3月 31日

- ・松村祥男会長退任

平成 19年 (2007年) 4月 1日

- ・小後摩基新会長就任

平成 21年 (2009年) 4月 27日

- ・中等教育学校(中高一貫校)設置計画を市教委が新聞発表
- ・即座に同窓会、PTA、後援会の三団体が結束し請願・陳情を繰り返し、平成 24年 4月に附属中学校を開校し南高校の名称を残すことで合意に至る



平成 23年 (2011年) 3月 31日

- ・小後摩基会長退任

平成 23年 (2011年) 4月 1日

- ・石川直弘新会長就任
- ・19期菱刈範之氏 南高等学校 校長着任

平成 23年 (2011年) 11月 26日

- ・二十歳の同期会開始

平成 24年 (2012年) 3月 31日

- ・菱刈校長離任

平成 24年 (2012年) 4月

- ・入学時に校歌CD配布開始

平成 24年 (2012年) 5月 5日

- ・南高同窓会ホームページをリニューアル
- ・通学路清掃活動開始



平成 24年 (2012年) 9月 22日

- ・南高祭 お休み処「想いで箱」出展開始(卒業アルバムや年表の展示・喫茶)



平成 25年 (2013年) 3月 14日

- ・南高附属中開校記念樹「ニュートンのりんごの木」寄贈



平成 25年 (2013年) 7月 1日

- ・同窓会報全会員発送開始(隔年)

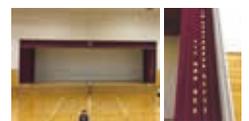
平成 25年 (2013年) 9月 1日

- ・同窓会定期総会開始(隔年開催)



平成 26年 (2014年) 9月 3日

- ・学校 60周年記念としてPTA・後援会と共同で源氏幕と時計を寄贈



平成 27年 (2015年) 9月 5日

- ・卒業アルバムのアーカイブ作成

平成 27年 (2015年) 2月 27日

- ・南高同窓会クリアファイル学年色3色を作成入学時と卒業時に配布



平成 28年 (2016年) 4月 1日

- ・同窓会発足 60周年を迎える

平成 28年 (2016年) 4月 1日

- ・21期磯部修一氏 南高附属中学校校長着任

平成 29年 (2017年) 8月 1日

- ・同窓会報隔年発行

60周年

南高同窓会 60周年に思う事

私達の時代は余程の事が無い限り、卒業と同時に同窓会に入会するのは当然と考える者が殆どでした。それが任意団体なんだからとか、個人情報縛りを過度に考えた学校対応の影響もあり、入会者が3割に落ち込んだ時は同窓会存続に黄色信号が付きましたが、それよりも晴天の霹靂だったのが中高一貫校問題でした。東高校が推進校として試行されていたのだから、其のまま推移して行けば良いものを教育委員会が南高の校庭に惚れこんだと思っています。私が言う迄も無い事です、Y校の普通科が突然廃止された時、南区内(港南区も当時は南区)の公立中学校に子供が在籍中の父兄運動が素晴らしく、土地購入の寄付金集めにまで発展し、ゴミの最終処分跡地とは言え現在の校地に為ったのですから、横浜全体としてのエ

同窓会 相談役 鈴木 豊(6期)

リート校で無く、旧南区方面の地域校で良かったのです。私事ながらお陰様で我が家は岡小、南中、南高に姉(3期)、私、妹(8期)とお世話になりました。

その反対運動の中で残念ながら先般他界された、故小後摩 基(5期)前会長は大病上がりとは思えない活躍をされ、最終的に条件闘争に切り替える事により南高の名前を残す事だけでも出来たのは良かったのではと思っています。又運動の中から教育畑を歩いてこられた石川 直弘(9期)新会長になり、理事諸氏の頑張りも有り同好会から団体組織に中身が変革しつつあり、入会者率が増えている事も相まって御同慶の極みと存じ、同窓会が益々発展して行く事を祈念し今後少しでも若い期の方々が参加される様お願いしたいと思います。

同窓会の活動（現役との交流）



喫茶コーナー



南高祭

平成24年からお休み処「想いで箱」として参加しています。



同じブースに生徒会も一緒に展示しています。



5期の山崎さん手書きの南高と世相の年表展示と全ての期の卒業アルバムが閲覧できるコーナー

清掃活動

春・秋の2回附属中学生と一緒に通学路のゴミ拾いをしています。



同窓会主催の活動

卒業直後の同期会



平成 28 年 5 月 15 日 (日) 於 南高食堂 / 131 名



平成 29 年 5 月 21 日 (日) 於 南高食堂 / 102 名

平成 18 年から卒業年の
5 月第 3 日曜日に開催しています。

58
期



平成 28 年 1 月 16 日 (土) 於 パセラリゾーツ関内店 / 約 200 名



平成 29 年 1 月 14 日 (土) 於 パセラリゾーツ関内店 / 約 140 名

二十歳の同期会

平成 23 年から
成人を祝い
開催しています。

各同期会

9期



古希に集う～9期同期会～

辻 信夫（9期）

平成28年10月29日上大岡オフィスタワー11階ホールで、9期としては初の本格的同期会が開かれました。当日は90名以上が集まり、みんないい歳になったわけですが、高校時代にタイムスリップしてワイワイと旧交を温めました。

10期



平成28年6月19日（日） 於 横浜駅東口 崎陽軒本店 / 111名

13期



平成28年10月8日（土） 於 横浜ガーデンホテル / 82名

14期



平成28年9月18日（日） 於 パセラリゾーツ関内店 / 90名

15期



平成28年5月28日（土） 於 ロイヤルウイングランチクルーズ / 74名

18期



平成27年10月17日 於 横浜駅東口 崎陽軒本店 / 115名

23期



平成28年6月11日 於 横浜駅東口 崎陽軒本店 / 129名

部活OB会



落語研究部

平成27年6月28日(日) 於 旅館松島



美術部

2017年3月、今回で18回目の南期会展が吉野町市民プラザで盛大に開催されました。

浅見先生、3期から15期までのOBの方々の素晴らしい作品が展示され、多くの方々が訪れました。



陸上部

平成29年2月18日(土) 於 南高セミナーハウス

陸上競技部OB会は現役生との交流のため南高セミナーハウスに集合。顔合わせの後グラウンドで練習の見学、最後にはリレー競技を行いました。現役、顧問、OBの混成チームを作り私(57歳!)も参加しましたが走る距離をうんと短くして頂きその分現役生が頑張ってくれました。夜の部はOB達の懇親会で昔話にも花が咲き楽しい時間となりました。

津田 正之 (22期)



応援団・バトン部

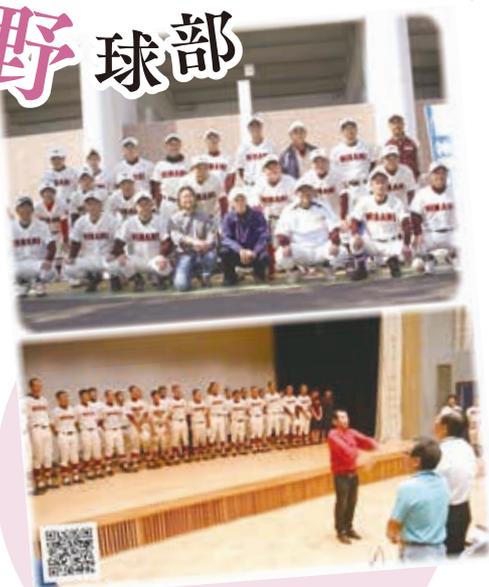
5月13日パセラリゾート関内店において、応援団、バトン部でのOB & OG会を開催しました。

上は17期から下は34期まで総勢40名が集まり、大いに盛り上がりました。

最後は、校歌、エールで締めました。

葉袋 充生 (29期)

野球部



毎年3月～5月、OB対象のマスターズ甲子園神奈川大会に参加しています。

6月にはOB総会ならびに、選手権大会へ向けての壮行会を実施しています。

伊東 英明 (25期)

南高校吹奏楽部
OB有志
アンサンブル

クラリス



南高校吹奏楽部OB有志で結成したクラリネット・アンサンブルのグループです。平成19年9月に行われた恩師高橋勝司先生の追悼演奏会に久しぶりに参集して演奏したメンバーが合奏の楽しさを再発見して、そのままグループを作ることになりました。

毎年ホールでの演奏会のほかにケアプラザや老人ホームでの演奏活動をしています。

寄付をして頂いた方の御芳名

平成27年6月～平成29年5月31日現在に同窓会へご寄付を頂いた方々のお名前を掲載させていただきました。皆様からの浄財は会報発行など同窓会の運営費としてまた母校への援助資金として大切に使用させていただきます。本当にありがとうございました。

※敬称略 匿名希望は除く ()は旧姓

平成27年度 (1期)

古林 好明
中尾 松江 (関本)
湯川 順子 (武井)
繩 英明
石光 薫代 (柿沼)
安部 英雄
辨沢 裕子 (森)
中村 光江
加茂 京子
中村 文子
松村 祥男
高橋 誠一
高橋 健一
阪柳 定男
大森 すみ子 (永井)

(2期)

吉川 時子 (加藤)
清水 一枝 (金子)
丸山 秀樹
渡邊 サチ子 (カサハラ)
山本 秀智
平野 幸子 (笹井)
奥川 貞夫
福本 匡志
木村 道弘
木村 和子 (市川)
紙屋 康子 (柏倉)
小出 国蔵
川崎 辰雄
平沢 廣光
3組クラス

(3期)

中村 裕子 (石田)
森 靖博
青木 秀雄
若林 美恵 (川戸)
丸山 隆司
高田 政秀
高山 佳久
長瀬 節子 (後藤)
大城 カヨ子
内田 美智子 (古郡)
飯窪 昭文
菊地 紀夫
加藤 喜隆
吉原 清廣
齊藤 靖司
篠原 光
織茂 邦子

(4期)

田河 桂子 (白石)
大塚 明美 (関司)
小金丸 佳代子 (富永)
宮島 洋子 (小川)
山崎 美智世
家城 光代
中村 彰
滝川 雅啓
西川 佳孝
北村 史子 (門馬)
石井 全・重田 紀子
宝積 侑子
安田 由美子
佐藤 恭子 (河野)
吉金 和子
高田 良子 (寺澤)
中村 崇治郎
大塚 喜英
柳谷 紀秀
松下 洋
矢口 素久
荒井 福

(5期)

榎崎 道明
中里 南海男
深山 静子 (川上)

長井 俱子 (船越)
大島 桂子 (守屋)
大久保 章子
浅井 洋子
鶴田 修康
関口 清
菘田 義壽
中井 年子 (紙透)
廣嶋 久美子 (青木)
間庭 俊子
加藤 光枝 (佐久間)
日高 加代子 (岡)
前田 邦博

(6期)

鈴木 豊
川合 功
猿渡 章雄
川井 清久
北瀬 晃一
大矢 貞子 (石田)
福田 康宏
中田 幹夫
池田 耕三
長瀬 美智子 (羽山)
大滝 良雄
古宿 裕子 (竹川)
小島 玲子 (川崎)
山野 井武男
鈴木 三恵子 (浅田)
中田 健二
吉田 博子 (小林)
峠岸 和子 (山田)
笠嶋 悦子 (三沢)
椎谷 勝彦
佐々木 節子 (大脇)
保谷 陽子 (樫葉)
小野 富貴子 (笠原)
矢尾 知子 (栗田)
平井 なほ江 (佐野)
齋藤 マサエ
鈴木 迪子
西澤 勲人

(7期)

菅沼 義久
佐原 富子 (志水)
織茂 満明
内木 功枝 (重城)
山崎 貞子 (依田)
田中 由喜子 (横山)
丸山 郁子 (下山)
郵便 泰子 (仲丸)
藤井 登美子 (鈴木)
苗村 富美恵
河内 定子 (荒井)
小原 信夫
青山 尚文
清水 久美子 (飯田)

(8期)

田窪 和代 (鈴木)
三木 祐子 (高野)
石川 直弘 (福田)
吉田 昊哲
遠藤 光男
豊田 和子 (鹿島)
安藤 昭子 (吉川)
矢田 部久
花田 恵子 (田中)
大山 高英
太田 容子 (村上)
小島 孝紀
博多 邑江

(9期)

小島 邦雄
佐々木 多美子 (井上)
柳内 勢津子 (久世)
宮口 恵美子

中須 真寿江 (荒井)
渋谷 三枝子 (大山)
八巻 和代
新井 清隆
中村 守男
北見 昭八
高梨 徹
三戸谷 二郎
伊藤 英男
清美 穂子 (古賀)
田頭 昌彦
青木 清
鈴木 康夫
蕪木 恒男
工藤 昌代 (山田)
荒井 弘之 (近藤)
矢田部 公仁子
長崎 きぬ子 (宮崎)
長崎 昭則
吉田 富春
小澤 淳子 (奥田)
多々良 道雄
工藤 二郎
岩田 力
磯野 明子 (鬼頭)
海老澤 幸子

(11期)

石井 啓子 (関)
小原 早苗 (尾島)
水島 廣子 (村上)
道家 もづ子 (松倉)
井岡 美津枝 (高木)
鶴岡 実
浅岡 俊勝
坂田 孝一
伊藤 廣
安田 直隆
石崎 松子
川島 英子 (水谷)
岡本 康夫
荒井 令子 (荒井)

(12期)

新倉 利枝 (松原)
奥 登代子 (本多)
高木 静江 (久世)
石川 麗子 (小林)
内野 実
間邊 光夫
郡山 菜都子 (真鍋)
内野 愛子 (渡辺)
荒井 保男
和知 房子 (押元)
谷口 恵美子 (松田)
安達 ひさ子 (渡辺)
島田 紀子
鈴木 敏博
小石川 啓三

(13期)

佐藤 加代子 (山田)
國生 陽子
濱田 早苗 (礁井)
薬澤 五月 (伊平)
林 隆明
高柳 一六
嶋崎 由美子 (岸)
小林 雅雄
保坂 久美子
竹内 喜次
中瀬古 公男
岩井 和枝 (松田)
島田 のり子 (伊丹)
島田 博
小関 裕
室伏 孝司
佐々木 光道 (菅野)

(14期)

佐々木 みどり (神)
佐々木 友子 (白川)
山本 さち子 (才木)

寺内 嘉章
新井 恵子 (中野)
半瀬 桂子 (藤原)
菊地 一夫
秋山 正美
中村 憲史郎
大瀧 幸子
菊地 晶江 (花井)
荻久 保久雄
石井 真一
渡部 佳利
田口 一美 (深海)

(15期)

朝井 泉 (齊藤)
久保田 幸子 (齊藤)
濱窪 充子 (小川)
岸田 晴美
伊藤 利枝子 (小高)
池田 哲男
樺山 佳明
守屋 典子 (加賀谷)
倉田 昭雄
山形 幹枝 (鈴木)
青木 正純
伊藤 正明
神田 恵子 (行貝)
光守 辰清
宮崎 弘
信二

(16期)

細川 真知子 (飯島)
安藤 清美
竹内 徳慶
西村 圭子 (高石)
橋本 裕子 (廣川)
橋本 昌彦
式井 裕子 (北島)
渡邊 活江 (有賀)
大石 康弘
齊藤 由美子
宮本 忠勝

(17期)

大菊 明
村上 一郎
奈良輪 啓一
藤島 秀典
君嶋 哲也
渡辺 富子
鬼頭 誠二
鎌田 明子 (竹村)
一澤 茂行
田島 敬子
門倉 正幸

(18期)

松田 範子 (小島)
濱倉 公子 (山下)
高田 桂子 (志村)
太田 嘉子 (大石)
山形 和弥
森園 博文
星名 千代子 (古郡)
高橋 誠一
森 政美
野口 嘉
嶋崎 進一
田島 俊一
吉田 和子 (加藤)
磯貝 和秀

(20期)

高田 和成
石井 裕美
曾我 由紀子
佐々木 友彰
高柳 直子 (井上)
間宮 英美
佐々木 みどり (神)
里見 悦子 (土林)
山田 久仁子 (大井)

木下 素子 (小柳)
大石 めぐみ (淀川)
谷口 章
高山 敦子
福島 由美子
加藤 春見 (菊地)
小松 章
片井 温子
川島 洋子 (宮尾)

(21期)

福永 隆澄
坂口 則子 (杉山)
上田 英貴
荻原 正雄
木下 正吉
庄司 正弘

(22期)

長田 名美 (星野)
佐々木 正行
君嶋 律子 (古内)
早野 佳恵 (小島)
鈴木 祐次
川幡 芳子
本多 好美 (星野)
中村 元彦

(25期)

齊藤 宣子 (安在)
細川 恵美 (細谷)
三浦 雅之
西川 実
佐々木 幸子 (松岡)
高田 美幸 (壽)
篠原 玲子 (津端)
林 志鋒

(28期)

中川 紀子
山上 修
福井 祥子 (岡崎)
川上 美江 (広瀬)
内田 美保子 (前田)
中村 徹
信岡 陽子 (牛木)
小野 真喜 (原田)
片山 智子 (小野地)

(32期)

福田 久美子 (中村)
高橋 寿和
鈴木 緑
幡多 緑 (齊藤)
上野 浩
久保田 直樹
サイトウユミ (ハマタニ)
木寺 昌子
中野 貴之
平山 由起子 (山本)
矢吹 進一
久保寺 純一
田中 真帆
金子 桂
西村 奈奈 (山口)
小山 崇
藤田 亜希子 (岸本)
佐藤 精一・佐藤 倫子
石川 耕平

(44期)

日向 広暁
三井 弾
露木 臣通
宮崎 真理子
福武 修太
川上 麻実 (鈴木)
渡邊 裕喜
長谷川 佳美
小山 祐
角館 薫哉

(45期)

鈴木 杏唯
花木 朝香
中村 舞
森 希実可

(47期)

石橋 萌美
倉敷 みく
江副 泰右
坂口 正高
池永 理人
吉田 極
森 康至

(48期)

豊田 信之 (高田)
高田 幹子 (秋山)
中島 博子 (上野)
佐野 輝房
石井 剛
石田 博亮
和久 非卓
山本 和広
十時 三枝子 (結城)
金成 聡之
大屋 延興
溝入 由美子 (渡辺)
渡辺 実

(期が不明の方他)

クラス会

平成28年度 (1期)

本望 裕代 (服部)
鈴木 緑
鈴木 美代子 (浜口)
小森 良治
上野 浩
北原 輝明
有山 令子 (芹沢)
磯貝 比左夫
齊藤 玲子 (佐藤)
山本 邦彦
小塚 拓治
吉井 敏昭
猪股 恵美 (吉田)
小林 美咲
長谷川 愛恵

同窓会表彰 ～各部活動の活躍～

2015 年度

高校

弓道部	3年1組	境井 拓海	第59回関東高等学校 弓道大会 団体	ベスト16
	3年4組	小原 一祥	”	
	3年5組	飯島 真男	”	
	2年3組	平島 恭輔	”	
	3年1組	境井 拓海	第60回全国高等学校 総合体育大会弓道競技大会	出場
	2年3組	筒井 雅弘	第34回関東高等学校 弓道個人選手権選抜大会	出場
水泳部	1年4組	田中 莉子	平成27年度関東高等学校 水泳競技大会	出場 200m自由形・400m自由形
	陸上部	3年2組	金井 まるみ	全国高等学校総合体育大会 100mハードル 第5位 記録 14秒03

2016 年度

高校

水泳部	2年3組	田中 莉子	平成28年度関東高等学校 水泳競技大会	出場 200m自由形
-----	------	-------	---------------------	------------

Congratulations!

同窓会役員・理事・監事紹介

役職	期	氏名
会長	9	石川 直弘
会長代理	13	桐生 秀昭
副会長	14	菊地 晶江
副会長	18	山形 和弥
副会長	18	高田 桂子
理事	13	岩本しのぶ
理事	15	中村 宏幸
理事	20	内藤 一彦
理事	23	比留川秀一
理事	26	粕谷 正伸
理事	26	山田 裕之

役職	期	氏名
理事	26	長澤 嘉訓
理事	45	只木 聡
理事	54	荒川 飛鳥
理事	60	柿崎 真優
理事	60	川路 季輝
理事	61	高岡 純也
理事	61	古瀬 智美

監事	10	北見 昭八
監事	30	荒川 尚美

訃報

去る平成29年1月9日、永年同窓会にご尽力いただいた
前会長の小後摩 基様（5期）が逝去されました。

謹んでお悔やみ申し上げますとともに、心よりご冥福をお祈りいたします。

総会のご案内

平成 29 年 横浜市立南高等学校・附属中学校同窓会総会

横浜市立南高等学校・附属中学校同窓会会則第 22 条 1 の規定により、下記のように総会を開催いたします。ホームページにて総会議案書をご確認いただき、是非ともご参加くださいますようお願い申し上げます。

日 時：平成 29 年 10 月 1 日（日） 12 時 30 分受付開始 13 時開会
会 場：南高ホール（当日案内板を設置します）
内 容：議案書（ホームページに掲載）をご覧ください。

～同窓会創立 60 周年記念講演～

26 期 野球部主将
元 読売巨人軍、近鉄バファローズ内野手
大石 滋昭氏

「高校野球への想い」

～部活動から得られたもの～

講演会受付開始 14 時 15 分
講演 14 時 30 分～ 15 時 30 分



略 歴

NPO 法人デポルターレクラブ代表

日本プロ野球 OB クラブ会員。元東京読売巨人軍・近鉄バファローズ 内野手（右投・右打）。

横浜市立南高校からドラフト外で巨人に入団（1982 年）。翌年、近鉄に移籍。3 年間に在籍。

退団後は会社員を経て、1990 年よりゴルフ指導員としてレッスン活動を開始。

並行して 2007 年から 3 年間、ジャイアンツアカデミーのコーチを務め、野球の指導方法を学ぶ。

その後、NPO 法人デポルターレクラブを設立し、幼児・小学生・中学生及び成人の野球スクールを主催している。

スクール運営の他に、映画「アゲイン 28 年目の甲子園」、「青空エール」で野球技術の指導及び野球シーンの監修を担当した。

※当日学校の駐車場は使用できません。公共交通機関をご利用ください

同窓会 Web サイトのご案内

イベント情報、活動記録などタイムリーな情報を発信しています。

同窓生の会社・お店紹介 はじめました

掲載希望の方を募集中です！

普段の生活でも、同窓生の絆が広がっていくきっかけになればと願っています。



<http://nanko-ob.com>

